

第3回高専防災減災コンテスト募集要項

【公募期間】

2024年5月15日（水）～ 2024年6月28日（金）12時

【主催】

独立行政法人国立高等専門学校機構
国立研究開発法人防災科学技術研究所
公益財団法人国際科学振興財団

【後援】

文部科学省
一般社団法人全国高等専門学校連合会
日本放送協会（NHK）

【協賛】

応用地質株式会社

2024年10月17日（第2版）

I. はじめに

高専防災減災コンテストは、高等専門学校に在籍する学生が、防災減災に関わる地域の社会課題を解決するアイデアとその検証過程を競う取り組みです。活動を通じた高専生の成長の促進と、若い力による地域社会の災害レジリエンス向上に寄与することを目的としています。独立行政法人国立高等専門学校機構（以下、「高専機構」という。）、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、「防災科研」という。）、公益財団法人国際科学振興財団（以下「財団」という。）が連携し、実施するものです。

高専防災減災コンテストの特徴のひとつは、アイデア検証時にステークホルダーへのインタビューとその分析のプロセスを必須事項として取り入れていることです。ステークホルダーからニーズや具体的な事例を直接聞き取って、高専生が自分たちとは異なる視点から見た課題等に気付くことができるようになっています。検証活動とコンテスト後の取り組みも併せて、自分たちのアイデアが地域の課題解決に結びつくか挑戦してください。

コンテストに参加した皆さんの中から防災減災に関わる技術者、研究者や地域の防災リーダーが生まれることも期待します。

II. 募集概要

1. 主なスケジュール

最初に防災減災に関わる地域の社会課題を解決するアイデアを募集し、書類審査を行います。書類審査で選ばれたチームが、アイデア検証を行います。

アイデア検証時には、高専防災減災コンテストのもう一つの特徴である防災科研の研究者等によるメンターサポートや、検証活動経費のサポートを受けることができます。最終審査は、アイデア検証報告資料とアイデア検証報告動画、そして東京（一橋大学一橋講堂）で行う最終審査会のプレゼンテーションにより行います。

「公募説明会」と「アイデア検証説明会」は、それぞれ、アイデアの公募と書類審査通過チームによるアイデア検証活動についてのオンライン説明会です。また、「中間情報交換会」はアイデア検証活動中のチームがオンラインで参加して、各チームの活動状況を共有し、交流を深めるための会です。

表 1 主なスケジュール

2024 年 5 月 15 日（水）	公募開始
2024 年 5 月 21 日（火） 17 時～	公募説明会（オンライン） ※アーカイブを YouTube で公開予定
2024 年 6 月 28 日（金） 12 時必着 ※厳守	企画提案書提出締切
2024 年 7 月 17 日（水） 12 時	書類審査結果公表

2024 年 7 月 23 日（火） 17 時～	アイデア検証説明会（オンライン）
2024 年 10 月 17 日（木） 17 時～	中間情報交換会（オンライン）
2024 年 12 月 2 日（月） 12 時必着 ※厳守	アイデア検証報告資料・動画提出締切
2024 年 12 月 22 日（日） 11 時 30 分開始	最終審査会（一橋大学一橋講堂）

2. 応募資格

本科・専攻科を問わず国・公・私立高専 58 校に在籍する学生であることとします。個人でもチームでも応募可能で、人数は問いません。教職員がチームの顧問として必ず 1 名は入ってください。

複数校がチームを組んで提案することも可能です。チームの代表校（1 校）を決めて、提案書には連携校の参加者の情報を含め必要事項を記載してください。また、卒業生が協力者としてチームに参加することも可能です。提案書にその旨を記載してください。

インタビューを受けるステークホルダーの位置付けで、企業や自治体等の方が参画することはもちろん可能です。

3. 募集アイデア

高専が置かれている地域や訪問したことのある地域など、まずはその地域の特性と防災減災に関わる課題を捉えてください。企画提案書には、地域メディアの報道や公開されている資料等によって課題の根拠を示してください。

把握した地域の課題解決に役立つユニークかつ斬新なアイデアを提案してください。過去に当コンテストに応募したことのあるアイデアの発展版を応募する場合は、以前のアイデアから進歩、発展した点が審査されます。

提案したアイデアを検証するために行う活動内容を説明してください。想定で構わないので、どんなステークホルダーにインタビューを行って、どのように検証に活かすかを含めてください。また、コンテストの期間中に限定することなく、検証したアイデアを地域に実装するために、どのような取り組みを行えばよいかを提案してください。さらに、アイデア検証（コンテスト）後にどう発展させたいのか、具体的な姿でも夢の形でも結構ですので記載してください。

コンテスト期間中にアイデアの最終形を完成させること、社会に実装することを必ずしも最重要とは考えていません。多くの高専からの応募をお待ちしています。

4. 書類審査

(1) 応募方法

応募書類様式を第3回高専防災減災コンテストのWebサイトからダウンロードし、必要事項を記入してPDFファイルに変換後、メールに添付して提出してください。

締切日は、**2024年6月28日（金）12時必着**。

【第3回高専防災減災コンテストWebサイト】

https://www.bosai.go.jp/labo/ExtremeWeather/contest/contest_2024.html

提出先：info-kosencon(at)bosai.go.jp ※(at)は@に変更してください。

【提出書類】

すべての提出書類は、PDFファイルに変換して提出してください。

- ① 企画提案書（指定様式（パワーポイント））
- ② Webサイトなどへの個人情報掲載及び肖像権の使用承諾書（指定様式（ワード）、チームメンバー全員分、つまり教職員も含めて1人1枚の提出をお願いいたします。）

応募に際しては、他者の知的財産権の侵害や、共同研究者との機密保持契約違反などが無いように十分注意し、自身の知的財産権の保護にも必要な配慮をしてください。

なお、応募内容に対する著作権は応募者が有しますが、以下の(ア)～(ウ)の提出資料等については、コンテストWebサイト、パンフレット、記録動画等に掲載することがあります。YouTube動画、新聞記事、ニュース動画などで許可を得ていないものを含めないようにお願いします。

- (ア) 企画提案書（提案概要）、および最終審査のアイデア検証報告動画など
- (イ) アイデア検証活動に撮影した写真・動画、アイデア検証報告資料ファイルなど
- (ウ) 最終審査会時に撮影する写真・動画など

(2) 公募説明会

2024年5月21日（火）17:00 から、オンライン（Zoom）で公募説明会を開催します。公募説明会のアーカイブは、YouTubeで公開予定です。

(3) 書類審査の観点

- ① 地域の課題や特性の把握（7点）

対象とする地域の特性と解決したい防災減災に関わる課題を、地域メディアの報道や公開されている資料等の根拠に基づいて把握しているか。
- ② ユニークな着眼点や発想（6点）

地域の課題を解決するためのアイデアとその検証方法は、ユニークな着眼点や

発想によるものか。過去に当コンテストに応募したことのあるアイデアの発展版の場合は、以前のアイデアから進歩、発展した内容のみを審査②の対象とする。

③ 地域実装の可能性 （5点）

想定するステークホルダー・インタビューの相手や結果の活用方法等のアイデア検証方法は、地域実装の可能性を高めるか。コンテスト終了後も含めた取り組みの提案は、地域実装の可能性を高めるか。

（4）書類審査結果の公表

2024年7月17日（水）12:00に、コンテストのWebサイトで書類審査結果を公表します。最大10件の採択を予定しています。

なお、審査員のコメントは、全応募チームにフィードバックします。今後の参考にしてください。

5. アイデア検証

書類審査で採択されたチームが、提案アイデアの検証を行います。アイデア検証では、以下の課題を実行してください。

- ・検証中のアイデアについて、想定されるステークホルダーに必ずインタビューを行ってください（オンライン可）。インタビューするステークホルダーは、企画提案書と完全に一致する必要はありません。具体的なインタビュー相手について、メンターと相談することも可能です。
- ・インタビュー結果の分析を行い、ステークホルダーから見た自分たちのアイデアの「強み」と「課題」を考察し、その結果をどう活用したか、アイデア検証報告資料とアイデア検証報告動画の中で触れてください。

なお、アイデア検証活動経費の補助（10万円程度を予定）が行われるとともに、防災科研の研究者等がメンターとして検証活動を支援します。また、2024年10月17日（木）に、中間情報交換会（オンライン）を開催します。

6. 最終審査

（1）提出物

下記2種類の資料を提出してください。**締切は2024年12月2日（月）正午必着です。**
提出資料および最終審査会当日のプレゼンテーションをもとに、最終審査を行います。

（ア）アイデア検証報告動画（7分以内、MP4ファイル）

（イ）アイデア検証報告資料

① 報告概要（報告書②のサマリー）：指定様式（パワーポイント A4 タテ 1 枚）。

② アイデア検証報告書：自由記載（パワーポイント A4 ヨコ 10 枚以内）

※ 締切後の追加提出は受け付けません。

※ 他者の知的財産権の侵害や、共同研究者との機密保持契約違反などが生じないように

十分注意し、自身の知的財産権の保護にも必要な配慮をしてください。

(ア) アイデア検証報告動画について

- ・アイデア検証活動について動画で説明してください。
 - ・ステークホルダー・インタビューの結果の分析について、動画内で述べてください。
 - ・動画は7分以内とします。
 - ・動画はアイデア検証報告資料の説明である必要はありません。
- ※ アイデア検証報告動画はコンテスト Web サイト、パンフレット、記録動画等で公開する予定ですので、アイデア検証報告動画内で使用する図、写真等の著作権の確認をお願いします。

(イ) アイデア検証報告資料について

- ・アイデア検証活動について資料で説明してください。
 - ・ステークホルダー・インタビューの分析について、資料内で触れてください。
 - ・資料は報告概要含め11枚以内とします。パワーポイントで作成後、PDF ファイルに変換してください。
- ※ 報告概要は要旨集に、アイデア検証報告資料は最終審査会会場に掲示するポスターに掲載します。指定の様式で作成してください。
- 今後、アイデア検証報告動画・資料をコンテストの紹介や広報等に使用する場合は、その都度事前に確認します。

(2) 最終審査会

2024 年 12 月 22 日（日）に、一橋大学一橋講堂で、最終審査会を開催します。参加するチームの学生・教職員の旅費支援を行う予定です（上限あり）。

(3) 最終審査の観点

① 検証のプロセスの明確さ（7 点）

最終目標である地域の課題解決から「逆算」して検証活動が計画、実行されたか。課題を解決するための成果が得られたか。成果を得るための具体的な活動が設定され、実行されたか。活動のための資源配分が適切になされたか。

② ステークホルダー・インタビューの分析（6 点）

適切なステークホルダーを選んでインタビューを行い、その結果の分析から自分たちのアイデアの強みと課題を見出し、検証活動に活かすことができたか。

③ 地域への実装の可能性（5 点）

ステークホルダー・インタビューとその分析や検証活動によりアイデアの地域実装の可能性が高まったか。コンテスト終了後の取り組みの提案は、地域実装の可能性を高めるか。

④ 最終審査会でのプレゼンテーション（４点）

プレゼンテーションと質疑応答は、分かりやすく熱意を持って伝えていたか。

⑤ アイデア検証報告動画の工夫（３点）

アイデア検証報告動画は、検証活動の報告にふさわしい工夫がなされていたか。

（４）表彰

文部科学大臣賞：審査員得点最上位の最優秀賞に相当

高専機構賞：審査員の合議で決定

防災科研賞：審査員の合議で決定

国際科学振興財団賞：審査員の合議で決定

その他の賞も検討中

Ⅲ．個人情報取り扱いについて

ご提供いただく個人情報は、高専防災減災コンテストの広報活動、受付、運営業務に限り使用いたします。ご本人の同意がある場合、法令に基づく開示請求があった場合、不正アクセス、脅迫等の違法行為があった場合その他特別の理由のある場合を除き、上記目的以外での利用及び第三者への開示・提示はいたしません。

Ⅳ．よくあるお問い合わせ

Q1．どのような切り口で提案したらよいですか？

A．皆さんが日頃感じているような、皆さんの目線での地域の防災、減災の観点を入れて提案してください。自分たち独自の挑戦の内容があれば、更に良いと考えています。

Q2．他のコンテストで発表したアイデアでもよいですか？

A．差支えありません。ただし、以前行った発表そのままのアイデアではなく、新たなアイデアを付加させたものや、バージョンアップしたものを提案してください。他のコンテストのルールを守った上で、積極的な応募をお待ちします。

Q3．今回のコンテストでの提案内容に関して、同様の提案を他のコンテストに提案したり、並行して参加したりすることは可能ですか？またその際に守秘義務などがありますか？

A．まずは気軽に提案してください。本コンテストでは、ご懸念のような制約は設けない方針です。

Q4．アイデア検証活動期間中に、何を達成することを目指せばよいですか？

A．アイデア検証期間終了時まで、アイデアの最終完成形に達成することは、難しいかもしれません。「最終目標を達成するための大きな構想の中のこの部分を今回やってみる」というアプローチでも良いと考えています。また、アイデアが有望なものであったという結論が必ずしも最重要とは考えておらず、検証の結果、このアイデアのままでうまくい

かないことが判明した、ということもまた成果のひとつだと考えています。

Q5. 複数の提案に同じ提案者の名前が入っていてもよいですか？

A. 複数の企画提案は大歓迎です。ただし1つの提案ごとに1通ずつご応募ください。

Q6. 書類審査通過後のアイデア検証活動において、防災科研が持っている独自のデータを提供してもらうことは可能ですか？

A. はい、内容を伺い、可能な限りお応えします。

Q7. アイデア検証への協力を自治体等に依頼する際、例えば高専機構、防災科研、国際財団主催のコンテストの活動であることを話すと受け入れられやすくなるかと考えていますが、そのような言い方をしてもよいですか？

A. お互いのデメリットとならないことにご留意いただくことが前提ですが、その上で、ご提案のようにコンテストの名称、主催者名をご活用いただければと考えます。

【問い合わせ先】

国立研究開発法人防災科学技術研究所内

高専防災減災コンテスト事務局

メール [info-kosencon\(at\)bosai.go.jp](mailto:info-kosencon(at)bosai.go.jp) ※(at)は@に変更してください。

Web サイト https://www.bosai.go.jp/labo/ExtremeWeather/contest/contest_2024.html